

【基本理念】 子どもがイキイキ 笑顔で子育て 結 まち

資料No.3

【基本目標】
結婚、妊娠、出産に向けた環境づくり

【基本目標】
乳幼児の発育・発達に向けた支援の充実

【基本目標】
乳幼児期の教育・保育の提供

【基本目標】
子どもの生きる力を育む教育環境の充実

【基本目標】
支援を必要とする子どもと家庭への支援

【基本目標】
地域全体で子どもと子育てを支える社会づくり

【基本施策】
①結婚に向けた支援
②妊娠期から出産・産後の健診・相談体制の充実
**【重点】
産後の育児不安や負担の軽減**
不妊に対する支援
③思春期からの保健対策
④産科・小児医療の体制整備

【基本施策】
①乳幼児期の健診・相談支援体制の充実
**【重点】
乳幼児健康診査の機能強化と予防接種の勧奨**
②乳幼児期からの正しい食習慣や生活習慣の形成

【基本施策】
①保育所・認定こども園など教育・保育の量の確保と質の充実
**【重点】
幼小接続の推進**
②ニーズに応じた保育サービスなどの提供

【基本施策】
①学校の教育環境の充実
②いじめ・不登校対策の充実
**【重点】
いじめ・不登校の未然防止と相談体制の充実**
③危機管理体制の強化
④放課後の居場所づくり

【基本施策】
①専門的な支援を要する子どもや家庭への支援
**【重点】
医療的ケア児の支援**
②ひとり親家庭への自立支援
③要保護児童への支援・対応の強化
**【重点】
孤立しがちな子育て家庭の状況把握と子どもの見守りを強化**

【基本施策】
①家庭・地域の教育力の向上
**【重点】
地域ぐるみの活動の推進**
②子どもが安全・安心に暮らせる地域づくり
③仕事と子育ての両立支援

○結婚、妊娠、出産に向けた環境づくり（産後の育児不安や負担の軽減）

こども支援課

- 出産直後の産婦の育児への不安や身体への負担を軽減するため、産後の家事支援などを行う。

【拡充】産後ママの家事支援期間を5カ月から12カ月に延長し、対象者も産後ママのほか、家庭育児応援手当受給者、特別児童扶養手当受給者に拡大

【R3事業費】 1,031千円 【R4事業費】 980千円

○結婚、妊娠、出産に向けた環境づくり（不妊に対する支援）

健康長寿課

- 不妊治療にかかる経済的負担の軽減を図るため、不妊治療費の助成を拡充する。

【拡充】保険診療の適用外となる治療に対し、年度30万円を上限に助成（保険適用に伴う助成打ち切りを救う）

【R3事業費】 7,000千円 【R4事業費】 6,000千円

○乳幼児の発育・発達に向けた支援の充実（乳幼児健康診査の機能強化と予防接種）

健康長寿課

- 乳幼児を感染症などの疾患から守るため、予防接種の必要性や接種年齢、回数などを分かりやすく周知し、接種率の向上を図る。

【拡充】子どもの定期予防接種（A類）及び満1歳から中学3年生までのインフルエンザワクチン予防接種費用の助成に加え、子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨の再開（小6～高1）とキャッチアップ（17歳～25歳）接種。骨髄移植後の予防接種再接種費用の助成を実施

【R3事業費】 70,342千円 【R4事業費】 141,028千円

○乳幼児期の教育・保育の提供（幼小接続の推進）

教育総務課

- 幼少期から小学校への発達と学びの連続性を踏まえた教育の充実を図る。

【新規】18年教育を実現するため、保育所・認定こども園・小学校・高校・行政等の連携を強化（教育講演会の開催、外部講師による研修を実施。）

【R3事業費】 0千円 【R4事業費】 100千円

○子どもの生きる力を育む教育環境の充実（いじめ・不登校対策の充実）

教育総務課

- **いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に取り組む。**
【拡充】 重大事態発生時に早急な対応を行うとともに、公平性や中立性を確保するための第三者組織（弁護士・医師等で構成）を常時設置
【R3事業費】 909千円 **【R4事業費】** 1,253千円
- **誰もが、いつでも相談できる体制を整備する。**
【拡充】 増加する相談に対応するため、結の故郷教育相談員の資質向上を目的とした研修会を実施（年3回）
【R3事業費】 6,897千円 **【R4事業費】** 6,968千円

○支援を必要とする子どもと家庭への支援（医療的ケア児の支援）

こども支援課

- **医療的ケア児の在宅生活を継続するため、心身の状況に応じ、保健、医療及び福祉だけでなく、教育・保育を実施する。**
【拡充】 受入を週3日、1日5時間から週4日、1日6時間保育に拡充し、医療的ケア児の教育・保育の継続と、保護者の就労機会を確保
【R3事業費】 6,328千円 **【R4事業費】** 9,099千円

○支援を必要とする子どもと家庭への支援（要保護児童への支援・対応の強化）

こども支援課

- **地域社会から孤立しがちな子育て家庭に対する状況把握や食事の提供等を通じ、家庭の状況把握をすることで子どもの見守り体制を強化する。**
【新規】 子ども食堂実施団体への補助
【R3事業費】 ー 千円 **【R4事業費】** 3,025千円

○地域全体で子どもと子育てを支える社会づくり（地域ぐるみの活動の推進）

こども支援課

- 「地域の子どもは地域で育てる」意識で、安全・安心な遊び場や居場所の確保を図り、子どもと地域の人々の関りを深めるなどの地域ぐるみの活動を支援する。

【継続】 児童の保護者など、地域における組織（母親クラブ等）の活動を助成することで、児童の健全な育成や、長期休業中の子どもの居場所を地域で確保しようとする取り組みを支援。

【R3事業費】 2,089千円 【R4事業費】 1,730千円

<第2期大野市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し>

令和4年度が計画の中間年に当たることから、計画の中間見直しを行い、①今後の公立保育園の在り方、②保育所・認定こども園の定員の適正化、③放課後・長期休業中の子どもの居場所づくりの在り方について議論し、現計画を実情に即した、より実効性のある計画とする。